



## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月8日

上場会社名 株式会社 ジュンテンドー 上場取引所 東  
 コード番号 9835 URL http://www.juntendo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長兼経理部長 (氏名) 松浦 誠 TEL 0856-24-2400  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第2四半期の業績 (2021年3月1日～2021年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	24,255	△6.3	1,170	△39.5	1,166	△39.0	729	△43.1
2021年2月期第2四半期	25,893	16.6	1,933	342.9	1,913	365.3	1,281	399.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	90.34	—
2021年2月期第2四半期	158.90	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	34,721	12,552	36.2	1,547.40
2021年2月期	35,129	11,898	33.9	1,475.34

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 12,552百万円 2021年2月期 11,898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2022年2月期	—	0.00			
2022年2月期 (予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,400	△7.8	930	△59.2	900	△60.2	480	△65.0	59.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	8,331,164株	2021年2月期	8,331,164株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	219,032株	2021年2月期	266,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	8,072,752株	2021年2月期2Q	8,065,108株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
3. 補足情報 .....	7
商品別売上高 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの変異株の拡大等により、行動制限が断続的に行われる中、先行き不透明な状況が続きました。コロナ禍が継続する中、業績が上向き業種が存在する一方、対面サービス主体の業種においては依然として厳しい状況が続き、業績の二極化傾向は続いております。個人消費におきましては、高齢者及び成人への全国的なワクチン接種の開始及び接種率の向上により、消費マインドは徐々に上向いておりますが、雇用・所得環境の改善は遅れており、力強さを欠くものとなりました。今後におきましては、行動自粛やワクチン接種率の向上により、感染者数は減少傾向にありますが、雇用・所得環境や個人消費の改善には、なお時間を要する見込みであります。

このような状況のもと、当社では地方都市、中山間地、離島のなくてはならないインフラとなるべく、安心・安全な生活環境を地域の方々に提供するため、社会的距離の確保、店舗における除菌・定期消毒、社員の健康管理等の適切な感染拡大防止対策を実施し、お客様と社員の安全と健康を最優先とすうえで、営業を継続してまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高及び営業収入につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、感染症対策衛生用品の市場への供給が安定してきたことや需要の反動減もあり、感染症対策衛生用品の販売が前年に対して下回ったこと及び盛夏時期の天候不順等が大きく影響し、前年同期に対して減少いたしました。一方、コロナ禍において在宅時間を充実させるための巣ごもり需要は依然として続いており、弊社の基軸である「ホームセンターは農業、園芸、資材、金物、工具、ワーキングの専門店である。」に基づく商品施策に継続して取り組んできたことにより、DIY需要を取り込む結果となりました。また園芸・植物・農業関連部門におきましては概ね堅調に推移し、とりわけ園芸植物は好調だった前年同期を上回りました。店舗につきましては、当第2四半期累計期間においてホームセンターの閉店1店及び全面改装3店を実施いたしました。

当第2四半期累計期間の売上高及び営業収入は、242億5千5百万円で前年同期比16億3千8百万円(6.3%)の減少となりました。売上高は、233億4千3百万円で前年同期比16億2千2百万円(6.5%)の減少、営業収入は9億1千1百万円で前年同期比1千6百万円(1.8%)の減少となりました。

損益面では、売上高及び営業収入の減少により、営業利益は11億7千万円で前年同期比7億6千3百万円(39.5%)の減少、経常利益は11億6千6百万円で前年同期比7億4千6百万円(39.0%)の減少となりました。四半期純利益につきましては、7億2千9百万円で前年同期比5億5千2百万円(43.1%)の減少となりました。

なお、8月中旬の豪雨により商品や店舗設備等への被害が発生しておりますが、保険が付保されていることもあり、業績への影響につきましては軽微であると見込んでおります。

第3四半期以降におきましては、ホームセンターの新設1店を予定しており、売上高の増加と、収益の向上に努めて参ります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較し4億8百万円減少し、347億2千1百万円となりました。これは、主にたな卸資産2億3千4百万円の増加と現金及び預金6億1千8百万円の減少等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較し10億6千2百万円減少し、221億6千8百万円となりました。これは、主に未払法人税等2億5千5百万円及び借入金3億6千7百万円の減少等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較し6億5千4百万円増加し、125億5千2百万円となりました。これは、主に四半期純利益による7億2千9百万円及び譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分による3千2百万円の増加と、剰余金の配当による1億2千万円の減少等によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ6億1千8百万円減少し、12億3千2百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は6億2千4百万円(前年同四半期は43億1百万円の増加)となりました。

主な要因は、税引前四半期純利益11億5百万円、仕入債務の増加1億4千3百万円及び減価償却費5億6千8百万円等の非資金費用による資金の増加に対し法人税等6億1千1百万円の支払い等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は6億6千2百万円(前年同四半期は2億5千3百万円の減少)となりました。

主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出6億5千9百万円等によるものであります。支出の主な内

容は、店舗の改装等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は5億8千万円(前年同四半期は24億2千7百万円の減少)となりました。

主な要因は、短期借入金8億円の純増額に対し、長期借入金11億6千7百万円の返済及び配当金の支払1億2千万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年4月9日決算短信において公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,850,488	1,232,233
受取手形及び売掛金	271,363	299,393
商品	11,976,600	12,213,137
貯蔵品	33,822	31,815
その他	566,747	565,078
流動資産合計	14,699,022	14,341,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,545,406	26,653,183
減価償却累計額	△17,435,192	△17,679,435
建物及び構築物 (純額)	9,110,213	8,973,747
土地	5,988,327	5,988,327
その他	3,911,911	4,220,539
減価償却累計額	△3,062,920	△3,188,048
その他 (純額)	848,991	1,032,491
有形固定資産合計	15,947,533	15,994,567
無形固定資産	407,954	331,164
投資その他の資産	4,074,917	4,053,769
固定資産合計	20,430,405	20,379,501
資産合計	35,129,427	34,721,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,074,403	2,825,019
電子記録債務	4,162,082	4,572,747
短期借入金	—	800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,250,940	2,093,634
未払法人税等	695,607	439,809
引当金	427,846	452,494
その他	1,795,663	1,293,323
流動負債合計	12,406,543	12,477,028
固定負債		
長期借入金	7,100,744	6,090,280
退職給付引当金	2,409,792	2,380,747
資産除去債務	521,246	525,547
その他	792,603	694,863
固定負債合計	10,824,386	9,691,438
負債合計	23,230,930	22,168,466
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,224,255	4,224,255
資本剰余金	3,999,241	4,011,275
利益剰余金	3,787,186	4,395,479
自己株式	△116,230	△95,627
株主資本合計	11,894,453	12,535,384
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,043	17,308
評価・換算差額等合計	4,043	17,308
純資産合計	11,898,497	12,552,693
負債純資産合計	35,129,427	34,721,160

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	24,965,720	23,343,700
売上原価	17,467,359	16,411,020
売上総利益	7,498,361	6,932,679
営業収入	927,840	911,452
不動産賃貸収入	270,046	270,955
業務受託収入	657,793	640,497
営業総利益	8,426,201	7,844,131
販売費及び一般管理費	6,492,867	6,673,913
営業利益	1,933,334	1,170,218
営業外収益		
受取利息	6,727	5,926
受取配当金	6,313	6,025
受取手数料	2,397	2,397
受取保険金	1,122	382
雑収入	15,782	19,574
営業外収益合計	32,343	34,306
営業外費用		
支払利息	45,892	32,110
雑損失	6,075	5,675
その他	16	—
営業外費用合計	51,985	37,786
経常利益	1,913,692	1,166,738
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	198	—
貸借契約解約益	—	225
工事負担金等受入額	—	15,740
特別利益合計	198	15,966
特別損失		
固定資産除却損	15,967	56,209
減損損失	17,335	20,602
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,445	—
特別損失合計	38,749	76,812
税引前四半期純利益	1,875,142	1,105,892
法人税、住民税及び事業税	587,714	363,264
法人税等調整額	5,853	13,361
法人税等合計	593,567	376,626
四半期純利益	1,281,574	729,266

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,875,142	1,105,892
減価償却費	583,089	568,718
減損損失	17,335	20,602
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,620	19,803
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,654	△29,044
受取利息及び受取配当金	△13,041	△11,952
支払利息	45,892	32,110
投資有価証券売却損益 (△は益)	△198	—
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形及び無形固定資産除却損	15,967	56,209
受取保険金	△1,122	△382
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,445	—
工事負担金等受入額	—	△15,740
賃貸借契約解約益	—	△225
売上債権の増減額 (△は増加)	△59,384	△28,030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	198,548	△234,529
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,844,763	143,013
その他	△116,243	△365,105
小計	4,420,161	1,261,338
利息及び配当金の受取額	7,452	7,164
利息の支払額	△45,816	△32,798
補助金の受取額	11,525	—
保険金の受取額	1,122	382
法人税等の支払額	△93,408	△611,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,301,035	624,639
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△210,639	△659,827
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△106,400	—
貸付金の回収による収入	920	920
工事負担金等受入による収入	—	15,740
その他	62,357	△19,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253,760	△662,606
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,300,000	800,000
長期借入れによる収入	2,300,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,252,178	△1,167,770
リース債務の返済による支出	△51,710	△51,127
割賦債務の返済による支出	△43,507	△41,055
自己株式の取得による支出	△27	△47
配当金の支払額	△80,316	△120,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,427,739	△580,288
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,619,535	△618,254
現金及び現金同等物の期首残高	1,756,212	1,850,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,375,747	1,232,233

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

商品別売上高

(単位：千円)

部門別	期別	前第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)	(参考)前期 (2021年2月期)
		金額	金額	金額
売上高	家庭雑貨・家庭電器	7,345,002	6,061,829	13,880,077
	園芸農業・資材工具	13,414,742	13,246,560	23,922,950
	趣味・嗜好	3,658,726	3,539,272	7,482,310
	その他	1,729	1,719	3,328
	ホームセンター事業	24,420,200	22,849,382	45,288,667
	関連事業	545,520	494,317	1,081,689
	売上高合計	24,965,720	23,343,700	46,370,357
営業収入	ホームセンター事業	922,661	907,160	1,801,296
	関連事業	5,178	4,292	9,779
	営業収入合計	927,840	911,452	1,811,076
営業収益(売上高及び営業収入合計)		25,893,561	24,255,152	48,181,433

(注) 1 ホームセンター事業の各部門の内容は次のとおりであります。

家庭雑貨・家庭電器	台所用品、家庭用品、日用消耗品、家電製品、寝装・インテリア等
園芸農業・資材工具	家庭園芸用品、農業用品、工具・建築金物、塗料・作業用品等
趣味・嗜好	ペット用品、オフィス・店舗用品等
その他	消耗品等

2 関連事業の内容は次のとおりであります。

書籍・CD・DVD等

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。